

■質問

床が配置されないところは非剛床として(剛床解除)、応力計算をしているのですか。

■回答

ASCALまたはASTIMでは床が配置されないところは自動的に剛床を解除します。(下記参照)

[剛床解除に関する注意事項]

- (1) 剛床解除を解消することは、出来ません。
- (2) X・Y 方向とも、剛床解除されます。
- (3) 剛床解除された節点は重心・剛心に考慮されます。
- (4) 剛床解除の確認は、計算書出力し §6 応力解析 → 架構モデル → 支点条件 → 6.1.4 支点条件 を参照することにより可能です。
(剛床解除された節点には*印が付きます。)

(入力例)

(注) 1.  は床なし部分

2.  は剛床解除節点

